

平成 20 年度 毛長川流域連絡会（第三期） 活動報告書

毛長川流域連絡会の概要

- 第六建設事務所では、毛長川を地域に活かした親しめる川とするため、流域の皆様や足立区、東京都が情報や意見の交換を行うことを目的として、平成 15 年に毛長川流域連絡会（以下「連絡会」という。）を設置いたしました。
- 連絡会は 2 年を 1 期とし原則として年に 2 回開催しており、平成 20 年度は新たに第三期目として都民委員の募集を行い、委員 21 名[都民委員 13 名（団体委員 11 名、公募委員 2 名）、行政委員 8 名]により構成されました。今年度は第 10 回として第三期 1 回目連絡会を開催し、第 11 回は現地視察を実施しました。

平成 20 年度の活動内容

第 10 回流域連絡会

- 日時：平成 20 年 12 月 2 日（火）14 時 00 分から 16 時 00 分
- 会場：竹の塚地域会議室 二階大会議室
- 参加人数：都民委員 13 名、行政委員 7 名
- 議題・議事概要

第三期の 1 回目として東京都からの報告事項をもとに、毛長川について意見交換が行われました。



1. 開 会

2. 事務局挨拶

- ・資料の確認
- ・会の進行の説明
- ・委員の紹介

- ・毛長川流域連絡会の概要の説明
- ・座長・副座長の選出

3. 議 事

(1)「毛長川の整備計画」について（事務局）

〈概要〉

- ・毛長川の計画諸元は、暫定計画であるが1時間に50mmの降雨に対応することで、3年に1度の確率となっている。また2日間で217mmの降雨にも対応することで、10年に1度の確率となっている。
- ・毛長川の整備進捗率は、東京都の計画延長 8.55kmのうち、実際整備されたのが7.6kmで整備率は89%。埼玉県は計画延長 5.39kmに対して3.08kmで整備率57%、合わせて77%の整備率となっている。
- ・毛長川の標準断面は、暫定計画ということで、護岸としては計画河床まで対応できる護岸としているが、河床は暫定河床まで掘削する計画となっている。

(2)「毛長川の整備工事」について（事務局）

〈概要〉

- ・平成19年度に毛長川と見沼代用水の合流部の工事をした。19年度から22年度まで工事を行う予定である。19年度は、第1期工事として、仮設の栈橋、鋼管杭と砂小橋の橋台部分を施工している。
- ・今年度から始める工事は、舎人小学校の通学路が工事にかかってしまい、迂回路を考えている。幅4メートルを確保して、仮のフェンスで囲い、川への転落防止を考えている。
- ・毛長川と見沼代用水の合流部の仕切りの擁壁を取り壊す工法は、ワイヤーソーイング工法を採用し、振動や騒音を抑えて施工している状況である。

(3)「魚類調査等」について（足立区）

- ・足立区では、平成19年度より河川の生物調査を行っており、今年は毛長川のほかに、綾瀬川、荒川、圀川の4つの河川で調査を行った。
- ・今年度の調査では、毛長川では全部で12種類の魚類が確認されている。昨年度7匹のアユが確認されたが、今年も1匹ではあるがアユを確認することができた。その他マルタなど、都内でも数の少なくなってきた魚も確認されている。
- ・足立区で毛長川の調査を行った場所は、水の流れがあって、瀬になっていたりと、河川の流れに変化がある場所で護岸に植物が生えていたり、水の中にも植物があるということで、魚が非常に住みつきやすい、暮らしやすい場所になっている。毛長川は、ほかの河川と比較して、比較的多くの種類の生物が確認されている。来年度以降、工事が進められるので、そのことが魚にどういった影響を与えるかは、来年度以降の調査をもとに報告をさせていただきたいと思う。

(4) 事務局からの報告（次回の流域連絡会について）

- ・次回の流域連絡会の開催は、現地の現場を視察いただき、いろいろ河川事業に対する理解を深めていただければと考えている。2カ所の現場を考えており、1つは小台1丁目地区の隅田川の緩傾斜の堤防、スーパー堤防の一部完成した部分を視察していただきたいと考えている。
- ・もう一つは、足立区が取り組んでいる圀川の水質浄化の状況を視察していただき、水質浄化の重要性や理解をさらに深めていただければと考えている。

〈質疑・意見〉

- i) 整備管轄が埼玉県の区間の整備状況説明について

(都民委員) 谷塚橋から水神橋の間(3自治会/水神町会、竹の塚スカイタウン町内会、公社西保木間住宅自治会)は整備管轄が埼玉県あり、進行状況が気になっている。こういう会合に埼玉県側の人に来て説明していただけるということはできないか。

(事務局) 埼玉県も一緒にというのは非常に難しいと思うが、今後、埼玉県の情報を収集し、詳細な情報をお伝えできるように努力したいと思うので、引き続きよろしく願います。

ii) 河川へのゴミ投棄を抑止する看板設置の依頼について

(都民委員) 河川にゴミが投棄されている。2年ぐらい前にさくら橋の横にゴミ投棄を抑止する看板を立ててもらったが、ちょっとよく見ないとわからない状態である。ゴミを捨てたらこういう罰則があるという効果的な看板を立ててもらえないだろうか。

(事務局) 看板そのものをつくることは大丈夫だと思いますので、立てる場所や内容を相談させてください。また、看板設置については個別に地域の町会と相談させて欲しい。

iii) 鷺宮橋の老朽の対応及び新橋(新花畑橋)の架設について

(都民委員) 昨年頃の補修工事中に、橋の桁下を見させてもらったところ大分傷んでいる。近くの区画整理でダンプが多く通るので心配である。橋の架け替えはいつ行なうのか。また、近くに新橋が架かるとのことだが、いつごろ橋が架かるのか。

(事務局) 橋の老朽の対応は、道路を管理している部署が適宜、橋の状況を確認しながら補修工事、補強工事を施工している。鷺宮橋の架け替えについては、橋に接続する取付道路の用地取得で、折衝が長引き事業が滞っている。今後とも周辺の方の理解をいただくように努めていきたい。

新橋の新花畑橋は、都市計画道路257号線の幅員16mの道路があるが、この道路の延長線上に橋をかける計画で、従前に説明会を行っている。ここでは、高低差のある橋の取付部四隅の民有地の出入り関係や県境での取り扱いなどの補償内容について特に調整が難しくなっている。用地取得の条件さえ整えば、2年から3年くらいで橋を架けることが出来る。

iv) 埼玉県境に位置するフェンスの維持管理について

(都民委員) スカイタウンの前の武蔵野の路のところがゆがんで危険である。どこで補修するのか。

(事務局) 現地のほうで確認し、管理者を確認のうえ対応したい。

v) 毛長橋に接続する道路の拡幅計画について

(都民委員) 毛長橋に接続する道路の一部の幅員が狭く、交通事故が多い。歩道を広くするという計画はどうなったのか。

(事務局) 詳細の位置を確認できれば所管するところを確認し、必要であれば安全対策を調整する。

<都民委員からの事前質問への回答>

i) 毛長川、綾瀬川の浄化について

毛長川は綾瀬川とつながっているため、荒川から綾瀬川への導水による効果と埼玉県側の下水整備により、BODが、毛長川で平成14年度の7.4ppmから平成19年度には5.4と環境基準の5ppmという目標値を達成しつつある。かつて綾瀬川は、昭和46年度にBODが81もあったが、平成19年度は4.0となっている。国土交通省は、今後、導水の効率的な運用と埼玉県側の下水の普及により水質がさらに良くなるとの見解を持っている。

ii) 集中豪雨等の河川の治水対策について

毛長川は、10年に1回の降雨確率に対応する整備として暫定河床高まで掘り下げる。計画河床高まで整備すると、100年に1度の雨に対応できるが、これは毛長川が流れ込む綾瀬川、中川の整備状況が整わないとできない。整ってくれば、ある程度のゲリラ豪雨があっても、川の断面積、流れる面積が増えるので、かなりの効果があると考えている。

ii) 下水の処理対策について

毛長川流域は、汚水と雨水を別々に管渠で排除する分流方式で整備を進めている。花畑6丁目などの土地区画整理事業地区などでは、未整備箇所があるが、それ以外は、1時間50mm相当放流できる下水道施設が既に完成している。今後は関連部署と連携を図りながら未整備箇所の整備をしていきたい。

iii) 毛長川の完成断面について

鋼管矢板の長さはおおむね19.5mの深さで打設している。

管理道路の下の歩道のようなものについては、高水敷で修景は考えていない。護岸の前面は、コンクリートで被覆して修景するように考えている。

4. 閉会

第 11 回流域連絡会（現場視察）

- 日時：平成 21 年 2 月 16 日（木）12 時 50 分から 15 時 00 分
- 参加人数：都民委員 8 名、行政委員 5 名
- 行程：「竹の塚駅前交番」前～（1）圀川（足立区神明 1～3 丁目周辺）～（2）隅田川（足立区小台 1 丁目周辺）～「竹の塚駅前交番」前 ※マイクロバスで移動

1. 開 会

2. 現場視察

圀川（足立区神明 1～3 丁目周辺）の視察（足立区土木部の説明）

〈概要〉

- ・圀川上流端の小溜井排水場は閉鎖されており、大雨が来たときに下流端の圀川排水機場から中川に排水している。このため、上流では水が停滞して夏場にはアオコが発生し、また、河床にはヘドロなどが堆積している。
- ・圀川の浄化対策は、国土交通省、東京都、埼玉県、八潮市と足立区の 5 者で連携して取り組んでいる。今年度からの新たな河川の浄化として、「試験通水」と「浚渫工事」を行っている。「試験通水」は、外部の感潮河川の潮位差を利用して、自然流下により綾瀬川から水を引き入れ中川へ排水するもので、通水すると水質が改善された。「浚渫工事」は、足立区として上流部約 1.3km を 3 年間で行う。その他の浄化策についても検討中である。



（圀川）小溜井排水場～平成泉橋まで徒歩視察



（圀川）平成泉橋にて現場説明

隅田川（足立区小台 1 丁目周辺）の視察（第六建設事務所の説明）

〈概要〉

- ・隅田川は、昭和 38 年から 50 年にかけて「防潮堤」が作られたが、防潮堤は、「大地震に対して脆弱である」「コンクリート構造であるため、決壊した際の復旧に時間がかかる」「陸側から河川を見ることができず、水辺環境が劣悪である」等の問題点があった。
- ・都は、防潮堤の問題点を改善するため昭和 55 年、緩傾斜型堤防事業に着手した。緩傾斜型堤防は、堤防の底地までの用地買収等を行い河川区域として確保するものである（河川区域として堤防底地までの広い用地確保が欠点）。
- ・昭和 60 年から背後の地権者と調整し、堤防天端以降の背後地を盛土して開発者の建物等を建てられるようにしたスーパー堤防事業に着手した（スーパー堤防により、河川区域が堤防天端までに縮小）。

- ・スーパー堤防は、「大地震でも沈下する程度で、致命的な決壊はない」、「堤防沈下の際、盛土するだけなので、復旧が容易」、「テラスにより水辺に近づけ、土地の有効活用によって陸側からの眺望も良くなり、水辺環境が向上する」の多くの利点を持っているが、この事業は背後地の地権者の協力が得られないと整備ができない。
- ・今回視察する隅田川（足立区）小台1丁目地区は、第六建設事務所が施工したもので、平成17年度に築堤盛土が完成し、平成20年6月にスーパー堤防として竣工した。
- ・隅田川のテラス管理の上で一番問題なのがホームレス対応であり、平成17年には白鬚橋から神田川河口の間で約300軒のホームレスの小屋があった。都健康福祉局と23区が合同で行った生活支援事業により現在は31軒となった。
- ・ほかの問題点として、粗大ゴミ等の不法投棄があり、テラス内のバイクや自転車の走行による歩行者との接触、犬の糞の放置、護岸の壁面への落書きと除去の繰り返しが行われているところである。



(隅田川) 堤防テラス部にて視察



(隅田川) スーパー堤防天端にて視察

3. 質疑・自由意見

(都民委員) スーパー堤防はどれくらいの雨量を想定しているか。

(事務局) 高潮防潮堤のため雨量より高潮を考慮している。伊勢湾台風級を想定し、余裕高を設けている。

(都民委員) 国土交通省が、利根川上流で堤防決壊した場合、東京の地下鉄に水が流れ込むという検討結果が提示されていたが、それについて教えて欲しい。

(事務局) 国土交通省が荒川の堤防が決壊した場合に地下鉄へ何時間で水が浸かるというシミュレーションを発表し、地下鉄の管理者の対応や検討について紹介されていた。本件は、国の方の管理している大規模河川についての内容だが、これらを肝に銘じて都の管理河川の安全性高めることに努めていく。

(都民委員) 堀川は、治水整備されている状況で存在意義がなくなっているように感じるが、水質浄化や浚渫をするメリットがあるのか。

(足立区) 堀川は、もともと地元では水に親しめる河川だったが、治水の整備に伴い環境が悪化した経緯があった。このため地元から環境を戻していきたいとの意向があり、八潮市や足立区では地元へ河川環境の啓発活動を行ってきた。足立区としては、協力して環境を戻していく。

(都民委員) 毛長川の整備に伴い環境も整ってきているところだが、住民の環境と調和が取れる親しまれる川にして、地域にある親水公園並みに整備して欲しい。

(事務局) 連絡会で皆さんの意見を聞きながら整備を進めていきたいと思う。

(都民委員) 隅田川の立派な整備を見て、毛長川も親水公園並みに早めに整備願いたい。

(事務局) 毛長川は、隅田川のテラス相当の規模を作ると河川の流れを阻害することになるため、その辺も考慮して整備していく。工事の進捗は、見沼代用水合流部の工事を進めており、その後、修景工事も進めていく予定である。

(都民委員) 昭和33年頃、亀戸で狩野川台風による川の氾濫被害に遭った。このような形で治水整備をもっと活発に行われればと思っており、今日の河川整備の視察で少し安心している。

(事務局) 今のご意見も踏まえ、毛長川整備の検討等もしていきたいと考えている。

(事務局) 前回の会議の要望で、ゴミの捨て防止の看板設置依頼があり、中間報告として、案を掲示させていただく。所轄の警察でも快く看板に明記することを了解いただいたので報告させていただく。

4. 閉会